「掛さん日記」より

掛札マネジメントラボラトリ
経営士　　掛　札　彰　久

１０月１６日(日)　　菌床しいたけ大豊作

皆様“菌床きのこ”というのをご存じだろうか、大きさは直径 15 ㎝弱の円形で高さは 20 ㎝の床にきのこ菌を植え付けているものである。9 月中旬ごろ、近くまで行ったので仲間のコンサルタントに同行し、その栽培しているハウスを訪問し、帰りに 1 個いただいてきた。ここまでは良かったのだが、一向にシイタケが出て来ないのである、取扱説明書にある通り、充分に水を与えていたのだが全く気配さえないのである。それが約 1 か月経過し、家内と「ダメだね⁉」などと話していた、翌日やっとしいたけの小さな頭が顔を出した。そして今朝、食べられるサイズになったしいたけが折り重なるように菌床に付いているのだ。当然晩ごはんのおかずになった。考えてみれば西陽があたり、しいたけにとっては暑かったのだろう。もう一度楽しめそうだ。この「菌床きのこ」は大きくなるのが楽しみでご年配の方や子供達には人気なのだそうだ。

１０月１７日（月）　あるタクシー会社社長との約束

９月、７ヶ月ぶりに阿寒町商工会を訪問した、その帰り路、釧路までのタクシーを利用した。その運転をされている方が、たまたまタクシー会社の社長であった。多分、景気などの話から従業員の話になったのだと思うが、そこでまた若いM社長に私がコンサルで「社員意識調査」などをやってみたらどうかと提案し、その「ヒアリングシート」を送ることを約束していたのだ。その約束を忘れず先日やっと果たしたのだ。但し、１ヵ月遅れなのだからひどいものである。彼は車中で今までは全部一人で意思決定をし、社員の意見など聴いたことはなかったと話しておられた。そのお礼のメールが届いた、その内容には社員と話し合う機会を設けたことで、それぞれがどのような考え方をしているか分かりとても参考になったと書かれていた。ヒアリングシートについては早速使ってみますということであった。この様に一つの出会いを大切にしている。阿寒町に行ったら阿寒観光タクシーをご利用ください。

１０月２６日（水）　鮎川町のボランティア

岩手県の被災地に救援物資を届けたことはあったが、26 日から宮城県の被災地の事業復興支援について協力してほしいと、以前台湾にご一緒したＳ氏から連絡があり、何か少しでも役に立てればと考え、快諾した。石巻市のふたごの湯という道の駅に午後 4 時に待ち合わせた。この日は石巻の介護施設に立ち寄った後、石巻市鮎川町に向かった。とにかく街路灯なども消えていて暗いワインディングロードを約 1 時間弱走り、鮎川町の民宿に到着した。そこでは地元で海産物などの販売をしている青年実業家、そしてボランタリーとして 3 月から鮎川に住み着いて復興の支援をしている方々から、これからのことについて話し合った。先頭に立つこれらの方々と地元住民との考え方の温度差がかなり顕著で、ここに手伝う要素があると直感した。少し高台だった所では僅かに家を修復して生活している。ボランティアの人達は被災して間もなくは死体安置所での宿泊だったとのこと、本当に頭が下がる思いであった。明日は南三陸町戸倉地区で仮設住宅に住んでいる方と面談する予定だ。

今月のお勧め特産品

菌床椎茸栽培キット ホダ１セット（２個入り）　　2,980 円

ご自宅で椎茸を簡単に栽培してみませんか。栽培方法については説明書があるので安心です。気温が高い時期は不向きなので、これからがお勧めです。

（問い合わせ先）

せりた椎茸生産事業所きのこ農場　　代表　芹田正嗣
秋田県山本郡八峰町峰浜目名潟岩子 38
ＴＥＬ・ＦＡＸ　０１８５−７６−２３４０